

ごあいさつ



取締役頭取

大城 勇夫

皆さまには、平素より、りゅうぎんをご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。本年も、多くの皆さまにりゅうぎんをより一層ご理解いただくために、「りゅうぎん2002ディスクロージャー（経営内容開示）誌」を作成いたしました。

昨今の銀行を取り巻く金融環境は、大手金融機関の再編、異業種からの銀行業務への参入、ITの進展、平成14年4月のペイオフ一部解禁など急激に変化しております。経済環境につきましても、景気、地価・株価の低迷などから引き続き厳しい状況が予想されております。

こうしたなか、当行は平成14年度経営計画において「Speed 2002」^(注)の経営目標である「安定した収益基盤の確立」に向け三項目の重点施策を実施してまいります。

第一点は、貸出金利回りの向上を図る観点から取り組む「スモール・ローンの推進」であり、個人消費性無担保ローンおよび事業性小口融資をスモール・ローンと位置づけ、個人・事業性自動審査システムの導入ならびに有効活用、新商品の発売等により推進してまいります。二点目は収益性の向上を図るための「プライシングの徹底」であり、貸出金および預金、役務サービスにおいて、取引ごとの信用コスト、調達コスト、事務コストなどを適切に反映させた取引価格の実現に取り組んでまいります。さらに三点目の「債権管理の強化」では、ご融資先への細やかなサポートを徹底することで新たな不良債権の発生を防止するとともに、経営に課題のあるお客さまに対しては、銀行とお客さまが協力して財務内容の改善に取り組むことにより、債務者区分の良化を促進し、開示債権の圧縮を図ります。

あわせて、当行の目指す銀行像である『まかせてバンク』をキャッチフレーズに「お客さまが必要とするときに必要な商品・サービスを迅速に提供」する銀行の実現に向けて、IT技術の活用など顧客利便性の向上についても積極的に取り組むとともに、お客さまとの信頼関係の構築に向け、経営情報の積極的な開示にも取り組んでまいります。

厳しい経営環境ではありますが、役職員一丸となって「Speed 2002」で掲げる諸施策を着実に実行していくことにより、21世紀に勝ち残る「強い銀行」、地域の経済・社会により一層お役に立てる「沖縄になくはない銀行」を目指してまいります。今後とも、ご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

(注)平成13年度に作成しました中期経営計画「Speed 2001」は、平成14年度より名称を「Speed 2002」に変更いたしました。

平成14年7月